

from

ほうかつ

令和7年9月発行

特集！

地域を見守る“やさしいアンテナ” 檜葉町民生委員・児童委員

～必要な支援につなぐため日々活動しています～

民生委員 児童委員とは

民生委員・児童委員は、地域住民の方で地域の実情をよく知り福祉活動やボランティア活動などに理解と熱意がある等の要件を満たす方が選考されます。厚生労働大臣が委嘱する特別職の地方公務員です。（非常勤） ボランティアとして活動するため給与はありませんが、活動のために必要な交通費・通信費などが支給されます。定例会が月に1回開催され、勉強会や情報交換が行われています。委員の任期は3年間で、「民生委員法第14条 民生委員の職務」「民生委員法第15条 守秘義務」「児童福祉法第17条 児童委員の職務」に基づき活動されています。

今回は、誰もが安心して生活できる地域づくりを目指し、地域住民に寄り添いながら「住民の身近な相談相手」「専門機関へのつなぎ役」として活動している民生委員・児童委員の活動についてご紹介します。

“アンテナ”を張り巡らせて訪問



地域の中にはたくさんの不安や心配事、困り事が隠れています。民生委員・児童委員はアンテナを張り巡らせ訪問し、ちょっとした異変を感じ取り、様々な支援を考えながら活動しています。必要なサービス等を受けられるように関係機関につなぎ、また、住民自らが課題を解決するための支援を続けます。民生委員・児童委員の皆さんは「地域の社会福祉をつくる究極のボランティア活動」に取り組まれています。

＊訪問活動＊相談活動＊見守り活動
＊実態把握＊情報提供などの活動を行い、必要に応じて専門職や関係機関へつなぐ役割があります。

つなぐ



定例会



子どもたちの スポーツ交流会



民生委員・児童委員さんに聞きました！！ アンケートから見えてきた“思い”



- Q：民生委員・児童委員活動でのやりがいを教えてください。
- ＊訪問先で「いつもありがとう」「お疲れさま」と声をかけられると、いつも訪問を待ってくださるのだと思い、やりがいを感じます。
 - ＊生活面や身体面で困っていた方が、必要なサービスにつながり、その方が生きがいを持って生活できている姿を見ると「やってよかった」と感じます。
 - ＊問題を抱えた子どもさんの状況が少しでも改善されていると、何か役に立てたのではない、そのような時にやりがいを感じます。
- Q：民生委員・児童委員活動をして難しいと感じる事を教えてください。
- ＊困っているのではと感じ、声を掛けますが心を開いてくれる方ばかりではありません。信頼関係づくりやコミュニケーションは難しいと改めて感じると共にとても大切だと感じます。
- Q：どんな町になってほしいと思いますか？
- ＊障がい児・者、疾患の有無に関わらず、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重し合い、安心安全を実感できる町になってほしいと思っています。
 - ＊住民が増えて笑い声が聞こえてくるような賑やかな町並みになってほしいです。

タッグを組む行政と社協 ～担当者にもお話を聞きました！～



遠藤亨子係長

～檜葉町保健福祉課社会福祉係（委員候補者、選考を担当）～

全国的にもなり手不足の中、社会福祉に対する熱意を持ってお引き受けいただいた皆様には、安心して活動できるような環境を整えていきたいと思っています。今後も地域の身近な相談相手として、共に笑顔あふれる檜葉町をつくっていききたいと思っています。



新妻かおる次長

～檜葉町社会福祉協議会（事務局）～

民生委員・児童委員の皆さんの活躍を日々拝見し、身近な人だからこそ小さな異変に気づき、その小さな気づきが大きな支援につながっているのだと感じています。だからこそ、事務局として円滑な運営ができるように、関係機関との連絡調整などをしっかりと行っていきたいと思っています。

地域住民の声

地域住民の方々からは「1人暮らしなので、定期的に見守りをしてくれてありがたい。」「大丈夫？元気？と声を掛けてくれて優しい存在。」とのお話がありました。困っていることや不安なことの相談をためらう方もいるかもしれませんが、勇気を出して相談することで安心した生活に繋がることがあります。優しいアンテナを張っている民生委員・児童委員さんにぜひ相談したり、お話を聴いてもらってみてください。ホッとすることはありますよ！

高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156

〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5（檜葉町保健福祉会館3F）

Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽に
ご相談ください。





住民の「こんなことが知りたい！」がきっかけ♪

～ ますます充実する地域ミニデイ出前講座のご紹介 ～



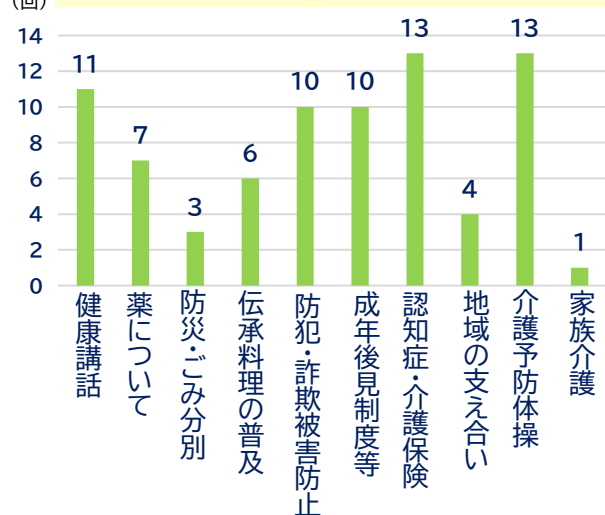
檜葉町では、18か所で地域ミニデイが開催されています。ミニデイは住民主体の集いの場であり、茶話、介護予防体操、季節行事、ものづくり活動、バスツアーをはじめ、皆さんの「**こんなことが知りたい！**」の声をきっかけとした各種出前講座も開催されています。今回は、医療・介護・福祉・防災・防犯・権利擁護等、様々なテーマで行われている出前講座についてご紹介します！

～地域ミニデイで行われている出前講座のご紹介～

実施機関	 ふたば医療センター附属病院	 ならは薬局	 檜葉町くらし安全対策課	 檜葉町食生活改善推進委員会
主な講座テーマ	●健康講話 (腰痛・脱水予防)	●お薬手帳の活用 ●薬の飲み合わせ	●防災対策 ●生活ごみの分別方法	●減塩を心がけたバランスの良い食事の普及・啓発 ●地元野菜を使った3色すいとんのふるまい 放射線リスクセンターの「食の安全講話」と一緒に開催しています
 双葉警察署	 双葉地方権利擁護支援センター8色			
●防犯対策 ●特殊詐欺被害防止	●成年後見制度 ●特殊詐欺被害防止			

右のグラフは、出前講座の開催実績をあらわしています。約2年半の間に計78回開催されており、テーマ別にみると**認知症、介護保険、介護予防体操が最も多い**ことが分かりました。健康講話、防犯、詐欺被害防止、成年後見制度等の講座も多く、**皆さんが幅広い分野に関心を持っている**ことが伺えます。

出前講座の開催実績(令和5年4月～令和7年8月)



社協職員も地域におじゃましています！

社協でも様々なテーマで講話を行っています！



認知症



地域の支え合い
(ボランティア)



介護予防体操



家族介護

専門職に直接質問できるのがいいね！

ミニデイ参加者の声

私たちも認知症出前講座に参加し、認知症の方を支えるサポーターになりました！



皆さんからの「**認知症について知りたい**」「**介護保険ってどんな人が申請できるの？サービスの種類は？**」「**地域の支え合いってどんなこと？**」「**介護予防のための体操を教えてください！**」の声を受け、社協も各地で出前講座を行っています。事前の入念な打ち合わせや資料作成等を行い、当日は寸劇（職員が認知症の方、地域住民の役を演じます）を交えて分かりやすくお伝えできるよう心がけています。「寸劇もあって内容が分かりやすかった！」と好評をいただいております、地域に根差した講座の大切さを実感しています。

住民の皆さんの声は、すなわち“今どんなことに興味を持っているか？”を示しています。今後も皆さんの声を大切に、関係機関と連携を図りながらご要望に合った出前講座を開催していきます！

檜葉町地域包括ケアシステム

まじわる つながる 支え合う リレー

第14走者

檜葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。檜葉町農林水産課から一般社団法人ならはみらいにバトンが繋がりました。



一般社団法人ならはみらい
職員の皆さん

一般社団法人ならはみらい

ならはみらいは、まちづくり会社として昨年設立10周年を迎えました。町の復興の歩みとともに業務が多角化するなか、設立当初から大切にしている「**町民主体のまちづくり**」をモットーに、関係機関と連携を図りながら、町の新たな賑わいづくりや移住促進に向けた各事業に取り組んでいます。

4つの係でまちづくりを促進

企画事業係

「ならは地域活動相談窓口」「檜葉町活性化協議会」の運営、「ならは百年祭」の事務局等を行い、町民や企業団体の皆さんがやってみたい！と思うまちづくりのサポートをしています。

移住促進係

「移住相談窓口」「移住者交流会の開催」等を行うほか、農林水産課と連携した移住者向け農業体験ツアーも行っています。

施設管理係

「みんなの交流館ならはCANvas」「笑ふるタウン」「地域活動拠点施設まざらっせ」等の施設を管理・運営し地域の賑わいづくりを行っています。

総務係

広報等を通じて、町民や社会に広く情報発信を行うほか、総務・経理業務を行い、バックオフィスとして、ならはみらいの事業活動を後方から支えています。

町民の皆さんが自らのアイデアを形にする機会が着実に増えていると実感しています。「ならは地域活動相談窓口」では、昨年度は町内13件、町外1件の相談がありました。子どもや高齢者の居場所づくりなどの相談も寄せられており、新しい挑戦や地域への関わりが広がってきています。



企画事業係長
木村英一さん

～地域とのつながり～

ならはCanvas、まざらっせの利用や季節行事（花植え活動、ならは百年祭等）を通して地域とのつながりがますます増えてきました。町内の14団体で構成された「檜葉町活性化協議会」では、定例会議、地域づくりの先進地視察、イベント等を通して、町の賑わいづくりに向けた活動を皆さんと一緒にしています。



▲活性化協議会による
気仙沼市視察の様子

～ならはみらいの思い～

町が活力にあふれ、震災を乗り越えた町の皆さん、移住してこられた皆さんの**誰もが「暮らしやすい」**と思えるようなまちづくりを、これからも地域の皆さんと一緒に進めていきたいと思っています。

～みんなのつづやき～ テーマ「私のおすすめ！」



センター長 江尻

私は迷った時、「より大変(困難)な方」を選ぶようにしています。できる限り後悔のない人生を送りたいという理由です。ぜひ試してみてください。



社会福祉士 岡崎

100円ショップの**観葉植物を育てること**です。最初は小さい枝葉だったのがぐんぐん育ち、葉っぱが沢山生えてきました。成長をみるのが日々の楽しみです♪



生活支援コーディネーター 小林

👁️ 目の周りのツボ押しです。眼精疲労やかすみ目を感じる時に、目の周りのツボ押しをしています。指の腹で、こめかみ、鼻のつけ根、眉頭をやさしく押すとスッキリ。コリがほぐれてきて、視界も広がるのでおすすめです♪



看護師 馬上

私のおすすめは「**運動**」です！

夕食後に30分程のウォーキングを家族がしていたので私も参加しました。歩いているだけなのに肩こりが緩和!!そして、いつも元気!!運動は大切ですネ！